

令和5年度 学校評価アンケート結果まとめ

あぶくま支援学校

今年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、以下の通りご報告いたします。保護者及び学校評議員の皆様には、お忙しい中ご協力をいただき誠にありがとうございました。

今回の結果を受け課題となる項目については、学校全体で改善に向けて具体的な方策を検討し、次年度の計画と実践に生かしてまいります。なお、未回答の部分があるため、合計が100%にならない項目がありますのでご了承ください。

評価基準	回答者数	
A とてもよくできている、とてもよくあてはまる	(小学部)保護者 89名(94%)	教員 53名(100%)
B よくできている、よくあてはまる	(中学部)保護者 52名(98%)	教員 29名(100%)
C あまりできていない、あまりあてはまらない	(高等部)保護者 196名(98%)	教員 74名(100%)
D できていない、あてはまらない	学校評議員 4名(100%)	合計497名

保護者、評議員の皆様
評価の結果



学校教育目標	評価項目	評価	小学部	中学部	高等部	評議員
進んで学ぶ 生活に生かす	学校は、学校教育目標や学部・学級目標、学級経営方針を分かりやすく伝えてありますか。	A	(%) 60	(%) 54	(%) 40	(%) 75
		B	39	42	57	25
		C	1	4	3	0
		D	0	0	0	0
進んで学ぶ 生活に生かす	学校では、学習活動、学校行事、部活動など特色ある教育活動が行われていますか。	A	(%) 68	(%) 56	(%) 50	(%) 50
		B	31	40	48	50
		C	1	4	2	0
		D	0	0	0	0
進んで学ぶ 生活に生かす	学校は、個別の指導計画をもとに、お子さん一人一人の力を適切に把握してお子さんにあった学習内容を工夫し、通知表やその他の方法で、お子さんの学習の達成状況を伝えてありますか。	A	(%) 67	(%) 54	(%) 46	(%) 50
		B	30	42	50	50
		C	2	4	4	0
		D	1	0	0	0
進んで学ぶ 生活に生かす	お子さんは、学校で学習したことや体験したことを生かしながら生活することができていますか。	A	(%) 49	(%) 40	(%) 30	(%) 25
		B	47	56	58	75
		C	3	4	11	0
		D	0	0	1	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっており、「進んで学ぶ 生活に生かす」のそれぞれの取り組みが高く評価されています。 ○障がいの特性や発達段階に応じた授業の工夫や個別的教育支援計画に基づき、児童生徒一人一人の適切な力を把握した授業を引き続き行っていきます。						
みんななかよく 共に働く	学校は、キャリアパスポートの作成等とおし、お子さんが学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、自身の変容や成長を確認できるよう工夫していますか。	A	(%) 55	(%) 42	(%) 32	(%) 50
		B	44	50	59	50
		C	1	6	9	0
		D	0	0	0	0
みんななかよく 共に働く	学校は、学校生活・学校行事等を通じて、お子さんの自主性や豊かな人間性の育成に努めることができますか。	A	(%) 63	(%) 48	(%) 40	(%) 50
		B	36	48	56	50
		C	1	2	3	0
		D	0	0	1	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっており、「進んで学ぶ 生活に生かす」のそれぞれの取り組みが高く評価されています。 ○障がいの特性や発達段階に応じた授業の工夫や個別的教育支援計画に基づき、児童生徒一人一人の適切な力を把握した授業を引き続き行っていきます。						

元気な体 健康に生きる	学校は、お子さんが楽しく、目標をもって運動を継続できるように、運動習慣の確立に向けた指導ができていますか。	A	(%) 65	(%) 63	(%) 47	(%) 25
		B	34	33	47	75
		C	1	2	5	0
		D	0	0	1	0
	学校は、児童生徒の実態や発達段階を踏まえた指導や性に関する指導の推進に取り組むことができていますか。	A	(%) 60	(%) 44	(%) 37	(%) 0
		B	35	50	53	75
		C	5	6	9	25
		D	0	0	1	0
	学校は、お子さんの望ましい食習慣の確立に向け、学校給食を活用し、食に関する興味関心を高める工夫をしながら指導を進めることができていますか。	A	(%) 62	(%) 50	(%) 43	(%) 25
		B	35	46	51	75
		C	3	2	3	0
		D	0	2	2	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっており、「みんな なかよく共に働く」のそれぞれの取り組みが高く評価されています。 ○進路指導部では、小学部・中学部段階から「進路指導の手引き」を活用しながら説明会や進路講話などを行ってきました。今後も児童生徒、保護者がより積極的に自分の進路を選択できるような取り組みを進めていきます。 ○新型コロナが5類に移行し、少しずつコロナ前の生活が戻ってきました。感染予防は継続しつつ、「元気な体」「健康に生きる」心と体を育成していきます。 ○各学部の委員会活動での朝のあいさつ運動やにじのおか祭では、学部を超えた交流をもつことができ、児童生徒が協力しながら活動することができていました。今後も交流の場を広げていきます。						
センター的機能の充実	学校は、ホームページや学校だより、学級だより等で学校生活の様子を伝えたり、本校の地域支援の取組や、福祉の情報等を発信していますか。	A	(%) 57	(%) 50	(%) 37	(%) 50
		B	38	40	51	50
		C	5	8	10	0
		D	0	0	1	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっております。 ○保護者や地域に情報を発信するために、ホームページの更新と内容の充実を図っていきます。						
安全で安心して学べる学校	学校は、安全で安心な学習環境の整備や環境の工夫したり、いじめ防止基本指針に基づき、お子さんの尊厳が守られるようにしたり、いじめの未然防止や早期発見、迅速な対応をしていますか。	A	(%) 55	(%) 44	(%) 51	(%) 25
		B	42	54	43	50
		C	2	2	5	0
		D	1	0	0	0
	学校は、ICT機器を活用するなど、お子さんが学びやすい環境の整備に努めていますか。	A	(%) 45	(%) 37	(%) 37	(%) 50
		B	46	60	55	50
		C	9	4	7	0
		D	0	0	0	0
【まとめ】 ○今後も児童生徒が安全で安心して学べる学校として、学校全体で教職員が一丸となって取り組んでまいります。 ○いじめの訴えや発見があった際には、迅速に対応し、保護者等と連携を図りながら対応していきます。 ○ICTの活用については、教員の研修会を実施しながら効果的な活用を進めてきました。今後も積極的に活用していくとともに、保護者向けの研修会も開催しながら、児童生徒の学びやすい環境づくりに努めていきます。						